

# 堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第16号

発行：平成20年3月31日 TSOグループ(指定管理者)

## 市民参画をテーマにした 視察団体が公園を訪れています

堺自然ふれあいの森には、平成18年4月の開園から公園での市民参画（ボランティア活動での関わり方）の先進事例として、多くの行政関係者や市民団体が視察に訪れています。



▲平成19年3月に完成した木道での視察

●視察では、訪れた団体の要望により、市民参画について堺自然ふれあいの森の事例を基に説明を行っています。視察後の意見交換では、市民参画型の管理運営についての具体的な取り組み内容や、市民と指定管理者の役割など様々な質問が出ています。



▲指定管理者によるふれあいの森の取り組み説明の様子

●平成19年度には、地域社会への市民参加を目的とした講座を主催する団体が、講座修了者の活躍が期待される場所として訪れました。また、いっちゃんクラブ（堺自然ふれあいの森の公園ボランティア）同様に、住民が地域の構成員を自覚し、責任を持って地域の整備に関わっている大阪市生野区のまちづくり協議会も視察に訪れました。この視察では、「自分たちの取り組みを違った角度から見直せた。」との感想が述べられました。



▲いっちゃんクラブ・TSOグループ・堺市の3者で、説明を行いました。

●堺自然ふれあいの森では、管理運営に市民が参画する公園として、市民とともに持続可能な管理運営を探る取り組みを行なっています。

## 2007年下半期のイベントの様子(一部抜粋)



環境教育セミナー（10月14日）



里山へとつながる庭づくり  
(12月15日)



自然と遊ぼう！（1月27日）



ネイチャーキッズ講座（通年）



# 里山保全への取り組み…その後

堺自然ふれあいの森では「ゾーン」や「管理区」を設定し、運営会議で協議しながら、保全に取り組んでいます。(ニュースレター第14号参照)

今回は、昨年度に設定した「ゾーン」や「管理区」のその後の様子(一部抜粋)に加え、今年度の秋から開始した「かがみ池」の環境改善の取り組みについて報告します。



## ゾーン1

コナラを主体とした里山的な雑木林の景観を作ることを目的に、繁茂したネザサの刈取りと斜面の間伐を行いました。



▲下草刈りをしている様子

明るく、とても気持ちの良い空間になりました。今後は広場として開放する予定です。



その後の様子

## かがみ池

かがみ池は、かつてこの地域で農耕が行われていた時に、自然の地形を活かして作られた、ため池です。使われなくなり放棄された池の周りにはコナラなどの樹木が覆い茂り、池を暗くすると共に、大量の葉を落とし水質を悪化させています。また、ウシガエルやアメリカザリガニといった外

来生物が多く住み、シュレーゲルアオガエルやカスミサシウウオといった、日本にもとからいた生物の生存を脅かしています。

そこで、大阪府立大学といちんクラブと共に、環境改善を進めるために事前調査を行いました。その結果、多くのウシガエルやアメリカザリガニの他、ヤブヤマやオオアイトトンボ、マツモムシなどの生息が確認されましたが、生物の多様性が低いことも改めて確認されました。

今後は、より多くの在来生物が生息しやすい環境を復元するために、周辺木の間伐や池の天日干しなど様々な取り組みを行っていく予定です。



▲調査で採取された生きもの

## お茶試験区

茶畑の景観を創出することを目的に、園内に自生する茶の木を移植しました。



森の館付近を造成した後、草地となっていた場所を耕しました。

## その後の様子



順調に生長すれば数年後にはお茶摘みができるかもしれません。



## ススキ管理区

大阪府による道路建設工事に伴い、平成19年に園内の一部が改変されることになりました。その場所はススキなどが生える草地で、カヤネズミをはじめ、多くの生きものが生息していました。そこで、それらの生きものの生息環境が失われるのを防ぐため、ススキの移植をいっちゃんクラブやイベント参加の市民と共に行いました。



▲繁茂しているササ類やセイタカアワダチソウを刈取り、ススキの移植地を整備している様子



▲ススキの移植の様子

### その後の様子

2007年12月の調査で、移植から1年たったススキ再生区に7個のカヤネズミの巣が確認され、隣接する湿地(スゲ沼)でも巣が見つかりました。これにより、ススキの移植後も無事にカヤネズミが生息していることが確認されました。今後も引き続き、管理と調査を行っていきます。



▲12月の調査で発見されたカヤネズミの巣。ススキなどのイネ科の葉っぱを使って、作られます。

### 以前の様子



大阪府立大学の学生による平成18年の調査で、この草地にカヤネズミの巣が数個あることが確認されていました。

### ススキ再生区にすむ動物

## カヤネズミ

(蒼鼠)



体の大きさは約5~8cm(頭からお尻まで)、体重約10g。日本で最も小さいネズミ。畑や水田、沼沢地などのイネ科植物の密生した草地を好む。「カヤネズミ」の名の由来は、河川敷によく見られた萱場にこのネズミが多く生息していたため。近年、このような場所が少なくなっていることから、生息数が減っており、大阪府レッドデータブック要注目種とされている。



写真提供: 澤辺氏

## ボランティア活動報告(2007年度下半期の様子)

堺自然ふれあいの森で活動しているいっちゃんクラブは、定例活動を活かした体験イベントを実施しています。2007年度の下半期に行われたイベントの一部をご報告します。



▲森の観察会~小さな秋見つけた!  
これまでに調べた動植物の情報をもとに、秋の草花の観察と解説を行いました。(9月9日)



▲ジャガイモ掘りと間伐体験  
ノコギリの使い方を説明した後、森のお手入れとジャガイモ掘り体験を行いました。(12月8日)



▲田んぼふれあい隊~秋の稲刈り編~  
この田んぼで収穫した餅米で、収穫祭に餅つきをしました。(10月6日)



▲野鳥観察会  
これまでに調べた野鳥の情報をもとに冬鳥や留鳥の観察を行いました。(2月10日)



▲自然のクラフト教室  
毎月第1日曜日にドングリや木の枝を使った工作教室をしています。12月はリース作りをしました。



収穫祭では、園内で収穫された野菜などが入った手作りの豚汁を提供しました。



# コラム

## 「ボランティアの根っこ」

社団法人 大阪ボランティア協会  
ボランティアコーディネーター 白井 恭子

### ●ボランティアとは…

ボランティアの本質を表す言葉として、「自発性」「社会性」「無償性」という3つのキーワードがあります。これは、社会課題の解決などを目的として、自分の意志で行う「私」発の行動をボランティアと捉えることができるからです。また、対価や報酬、利益を目的としないこともボランティアの特徴です。

さらに、ボランティア活動の目的を考えるもうひとつの視点として、個人やグループが行うボランティアは、活動をしている個人にだけ向けられるのではなく、活動自体が社会に開かれているところに大きな意味があります。一人ひとりの興味・関心や知識は限られていても、それぞれが個々の活動を展開することで、多彩な活動が生まれ、それが社会課題の解決にも結びつきます。また、ボランティア活動の過程では、個人の思いや活動しているグループの目指すものをいかに大切にできるかが鍵となってきます。

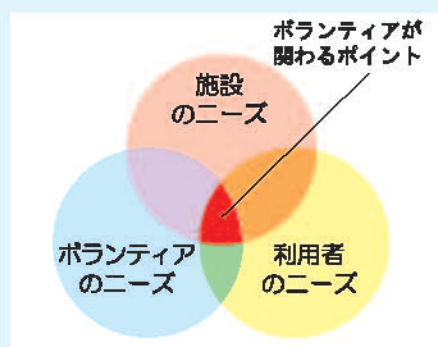
### ●ボランティアの活動

ボランティアという外来語は、意志“will”を表すラテン語“volo”を起源に持ち、これに人を表す接尾辞“-er”が組み合わさってできた言葉です。つまりその原義は「したくてする人」、自発性が核となってできた言葉なのです。ですから、「お尻むずむず」や「ほっとけない」という思いがなければ活動は始まりません。ボランティア活動は、自分の好き嫌いを抑えて、平等に活動しなければならないものではありません。しかし、注意すべきは「自分のやりたいこと」が必ずしも「必要とされる活動とは限らない」ということです。もちろん「私」発であることに変わりはないのですが、対象である「相手」の意向や客観的な必要性を見極めることも大切です。

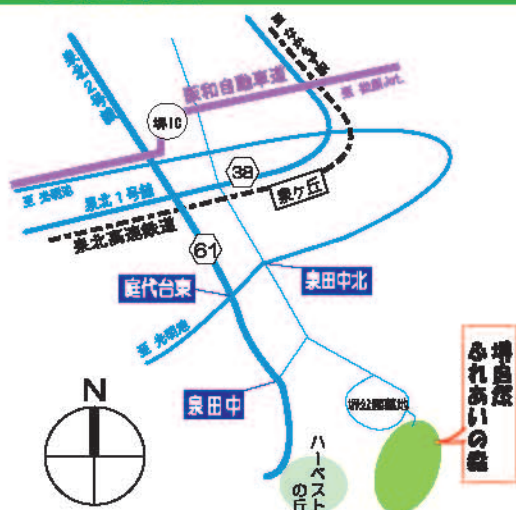
特に施設や団体でのボランティア活動では、施設(団体)のニーズとその利用者のニーズ、ボランティアのニーズ、この3つが重なる部分にボランティアが関わっていることで、施設が地域に開放され、地域社会から理解されるという大きな効果があります。ボランティアが架け橋となり魅力的な活動を行うことで、施設の社会的意義への理解も促進されます。

### ●ボランティアの自由

ボランティア活動は自由の中にも「責任(義務)」を伴う社会的な活動であるということを意識しておく必要があります。「する、しないが自由」な活動であると同時に、「自由と自己責任(義務)を伴う」活動でもあるのです。一人ひとりの「自発性」や「主体性」、そして「社会性」とのバランスのとれた活動を自分の関心のあるフィールドで仲間とともに展開することで、「好きが高じて社会につながる」そんなワクワクする活動が生まれてくるのだと思います。



### 交通案内



### ●電車・バスでのご来園

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば(南海バス)  
鉢ヶ峯行き「公園基地北口」下車 約1.2km  
※日曜・祝日は、堺公園基地 直行便有り  
「堺市立霊堂前」下車 約500m

### ●車でのご来園

阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園基地」を目標に お越しください。

●●●●● お問い合わせ・申込み先 ●●●●●

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地

TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811

ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>

発行：堺自然ふれあいの森 TSOグループ(指定管理者)

※TSOグループは、株式会社テクノグリーン・株式会社生態計画研究所・大阪ガスセキュリティサービス株式会社の連合体です。

